

青函トンネル対応機！赤色のED79にラインナップ追加！

SCALE
1/80
GAUGE
16.5mm

写真：辻晴穂



写真：加藤勝

◆実車ガイド

- ED79形は1988年の青函トンネル開通に向けた専用の機関車として、ED75-700形を改造して誕生しました
- 専用の保安装置の取り付けや高速化対応を行い、主に青森～函館間で使用されました
- 0番代は21両が存在し、旅客列車と貨物列車の双方で使用されましたが、2006年に貨物運用から引退し、旅客運用からは2016年の北海道新幹線開業時に引退しました
- 100番代は貨物列車けん引用の補助機関車として13両が登場し、青森～函館間で使用されましたが、2006年に全機引退しました
- 100番代は保安装置が2エンド側のみ搭載であったため、常に0番代との重連の上で函館側に連結されて運用されました
- 登場時はHゴムの色がグレーで側面に点検蓋のある形態でしたが、のちにHゴムの黒色化や点検蓋の埋め込みが施され、0番代の一部車両は2010年以降に2エンドのパンタグラフがシングルアーム式に変更されました

◆製品化特徴

＜共通仕様＞

- 側面点検蓋のある登場初期の姿を再現
- JRマーク印刷済み
- ガイシパーツは白色で再現
- Hゴムはグレーで再現
- 扇風機カバーは大型の形状を再現
- ヘッドライトは電球色LEDによる点灯、ON-OFFスイッチ付
- 車番は選択式で印刷済みエッチングプレート付属
- メーカーズプレートはエッチングプレート付属
- エンド表記はエッチングプレート付属
- ATSや検査標記などの車体標記は印刷済み
- 通電端子は屋根を取り外して使用
- 通過カーブはR600ミリ以上(S字を除く)

＜HO-2014＞について

- 区名札シール付属
- 印刷済みヘッドマーク付属「はまなす・北斗星・日本海・海峡」

＜HO-2510＞について

- 金属製パンタグラフ装備、金属製手すり取付済みのプレステージモデル
- 区名札は「青函」印刷済み
- 印刷済みヘッドマーク付属「はまなす・北斗星・日本海・海峡」
- ＜下記の部品は金属製で装着済予定＞
- パンタグラフ、各種手すり、ワイパー、解放テコ、信号炎管、エアホース、ジャンパ栓
- ＜下記の部品はプラ部品を装着済予定＞
- 台車ステップ

＜HO-2015＞について

- 区名札シール付属
- 前後で異なる運転室横の窓形状を再現

＜HO-2511＞について

- 金属製パンタグラフ装備、金属製手すり取付済みのプレステージモデル
- 区名札は「青函」印刷済み
- 前後で異なる運転室横の窓形状を再現
- ＜下記の部品は金属製で装着済予定＞
- パンタグラフ、各種手すり、ワイパー、解放テコ、信号炎管、エアホース、ジャンパ栓
- ＜下記の部品はプラ部品を装着済予定＞
- 台車ステップ

●並べて楽しめるお薦め商品●



写真：辻晴穂

JR 50-5000系客車セット

5月発売予定

品番	HO-2014	品名	JR ED79 ₀ 形電気機関車(Hゴムグレー)	
発売月	2020年6月	JANコード	4543736520146	予価 ¥32,800(税抜)
品番	HO-2015	品名	JR ED79 ₁₀₀ 形電気機関車	
発売月	2020年6月	JANコード	4543736520153	予価 ¥31,800(税抜)
品番	HO-2510	品名	JR ED79 ₀ 形電気機関車(Hゴムグレー・プレステージモデル)	
発売月	2020年6月	JANコード	4543736525103	予価 ¥55,800(税抜)
品番	HO-2511	品名	JR ED79 ₁₀₀ 形電気機関車(プレステージモデル)	
発売月	2020年6月	JANコード	4543736525110	予価 ¥54,800(税抜)

JR北海道商品化許諾申請中

TOMIX

2020.1.9発信

※製品は、実車の型式・仕様とは異なる場合もありますのでご了承をお願いいたします。 ※イラスト・写真などは製品と一部異なる場合があります。